

議決権行使レポート

証券コード 9928

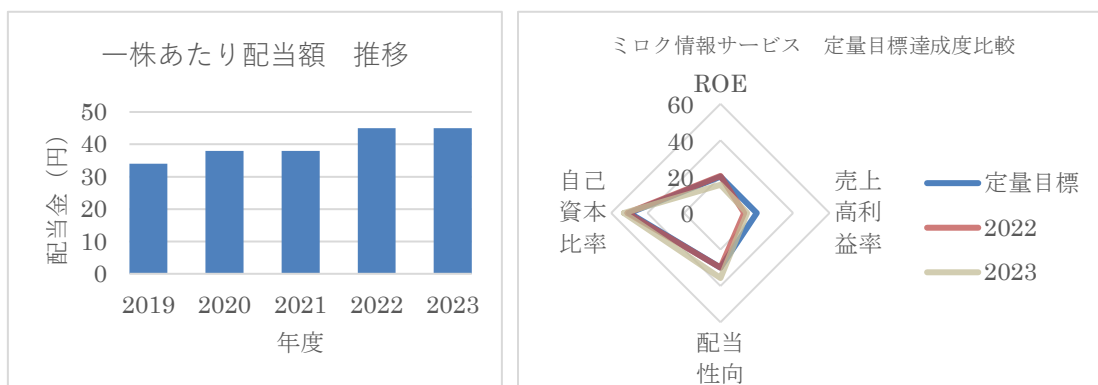
会社名 ミロク情報サービス

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分の件	○		
第2号議案 定款一部変更	○		
第3号議案 取締役12名選任の件			
是枝 信彦 氏	○		
是枝 周樹 氏	○		
鈴木 正則 氏	○		
寺沢 慶志 氏	○		
石川 哲士 氏	○		
高田 栄一 氏	○		
大久保 利治 氏	○		
岩間 崇浩 氏	○		
五味 廣文 氏	○		
北畑 隆生 氏	○		
石山 卓磨 氏	○		
山内 暁 氏	○		
第4号議案 補欠監査役2名選任の件			
井上 真 氏	○		
大淵 博義 氏	○		
第5号議案 取締役（社外取締役を除く）に対する譲渡制限付き株式の付与のための報酬決定の件	○		

上記の推奨をした理由

・第1号議案 剰余金処分の件

当期の配当性向は35.7%と、ミロク情報サービスが掲げる配当性向の基準30%を過不足なく満たしており、また過去5年の配当額の推移をみても配当額は安定していることが分かる。自己資本率は昨年と比較して減少しているものの、売上高は上昇したことを考えると、当期の配当額は「利益成長と株主還元のバランスを両立しつつ、長期的に安定的な株主還元を目指す」という方針に合致していると考え、当議案に賛成する。



・第2号議案 定款一部変更

ミロク情報サービスは取締役員数の上限引き上げの理由を経営体制及びコーポレートガバナンス体制の強化を図るためとしているが、招集通知内に掲載されている取締役会のスキルマトリックスを参考にすると新任の取締役3名が加わることで取締役会のスキルバランスがより良くなることから、この理由は合理的であるといえる。

また、ミロク情報サービスの提案する取締役会の構成が定款一部変更後もISSの求める取締役会構成基準に準じたものになっていることから、この定款の変更は経営に不利な影響を与えないと判断できるため、当議案に賛成する。

・第3号議案 取締役12名選任の件

再任である方々については、出席状況や会社との利害関係においても問題がなく、またミロク情報サービスのROEは取締役員選任に関してISSが定める基準を上回っていることから、反対する理由はない。新任の方々においても反対するべき理由はなく、全員賛成である。今までもその経歴から長きにわたって経営に貢献されてきた方々に、新しく人数が加わることで経営体制の一層の強化につながり、これからミロク情報サービスの更なる発展に貢献することが期待される。

・第4号議案 補欠監査役2名選任の件

監査役の方々は、2名とも当社株式を保有しておらず、また会社との特別な利害関係にないことから独立性は保たれているといえる。また、井上氏はその豊富な経験から、大淵氏は税務分野に関する知識から、それぞれ補欠として監査役に就いた場合には監査体制の強化に尽力できる方々であるため、賛成する。

・第5号議案 取締役(社外取締役を除く)に対する譲渡制限付き株式の付与のための報酬決定の件

本議案で提案されている報酬の形態は譲渡不可の株式ベースであり、企業価値の持続的向上のためのインセンティブに加えて、株主価値との連動制を高めることなどを目的とし

たものであり、その意図における報酬の導入は支持できる。

ROEは昨年に比べて減少したが、新たな報酬の導入がそれを上回る効果を発揮することを期待してこの議案に賛成する。